

2021年7月12日

呼吸器外科に、過去に通院・入院された患者さんへ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありませんし、患者さんが識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止します。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 完全切除された非小細胞肺癌の再発症例に対する再発後生存期間と予後因子を調べる後ろ向き研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] (氏名)大月康弘 (所属)呼吸器外科 (職名)病院助教

[研究の目的]

肺癌(非小細胞肺癌)の治療として手術を行った患者さんの中でも術後5年以内に再発を認め、抗癌剤などの全身治療を有する患者さんがおられます。その中でも再発後の治療が非常に効いて、長期生存が得られる患者さんもいらっしゃいます。どういった患者さんやどのような治療が術後再発した肺癌に対して効果的であったかを調べるための研究です。

[研究の方法]

対象となる患者さん

非小細胞肺癌の患者さんで当院の呼吸器外科で手術を行い、2000年1月1日から2016年12月31日の間に術後の再発と診断された方

利用する検体・診療情報

診療情報：術後再発後5年間での死亡の有無、年齢、性別、術式、組織型、病理病期、再発までの期間、喫煙の有無、再発形式、追加治療の内容

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 呼吸器外科 大月康弘

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院呼吸器外科 担当医師 大月康弘

電話 087-891-2191 FAX 087-891-2192